

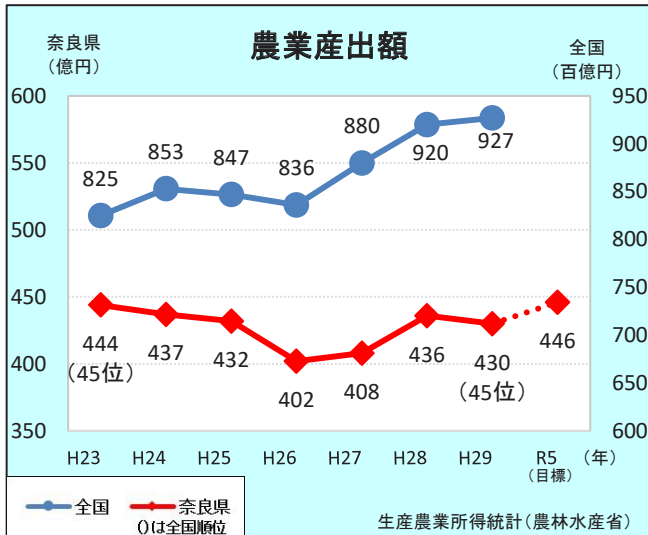
農・畜産・水産業の振興と農村の活性化

目指す姿

令和5(2023)年までに、農業産出額を446億円に増加させます。

主担当部局(長)名
農林部長 杉山 孝

1. 政策目標(目指す姿)達成に向けた進捗状況

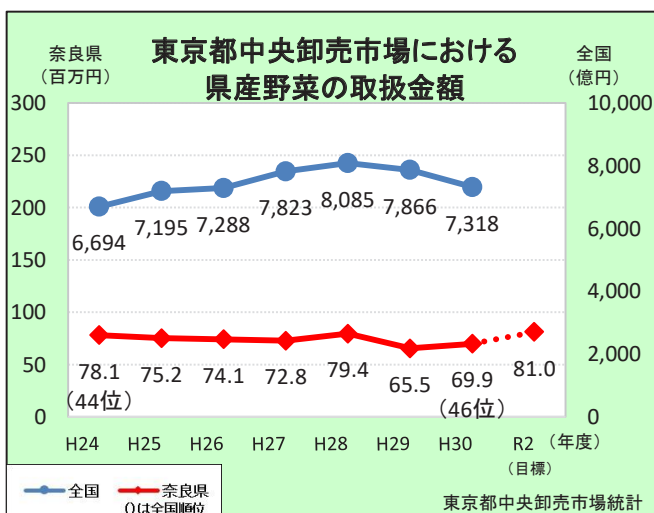


指標	農業産出額(億円)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	444		430	基準値を下回っています	446
	H23 (2011)	14 億円	H29 (2017)	6 / 12 年目	R5 (2023)
進捗状況	新規就農者の確保や、高品質生産への支援等により、農業産出額の増加に取り組んでいるものの、花きの単価変動等による生産額の減のほか、全国的な米価の回復により高収益作物への転換や、担い手への農地集積が進み難い状況であること等から、平成29年の農業産出額は430億円と、平成28年より6億円減少しました。今後も引き続き、農業産出額を増加する取組を進めていきます。				

2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略 県産農産物の販路拡大と美味しい「食」づくりを推進します。

主担当課(長)名
マーケティング課長 原 実



指標	東京都中央卸売市場における奈良県産野菜の取扱金額(百万円)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	78.1		69.9	▲282.8%	81.0
	H24 (2012)	8.2 百万円	H30 (2018)	6 / 8 年目	R2 (2020)
進捗状況	全国一の青果物取扱量を誇る東京都中央卸売市場において、奈良県産青果物は、大和丸なす等が主に取引されています。平成30年度は、大和野菜等の販路開拓に取り組んだことにより、東京都中央卸売市場における奈良県産野菜の取扱金額は、天候不良等により大きく落ち込んだ平成29年度から4.4百万円増加しています。引き続き、目標達成に向けて市場でのセールス等に取り組んでいきます。				

主な成果

- ・奈良の柿の輸出量が平成30年に40tとなり、平成26年より16t増加しました。
- ・奈良県プレミアムセレクト認証団体数[累計]が平成28年の5団体から平成30年に7団体に増加しました。
- ・「人・農地プラン」の作成地区数[累計]が平成24年の74地区から平成30年に154地区に増加しました。
- ・「ならグリーンツーリズム」HPへのアクセス件数が平成27年の39,829件から平成30年に85,412件に増加しました。

林業・木材産業の振興と新しい森林環境管理体制の構築

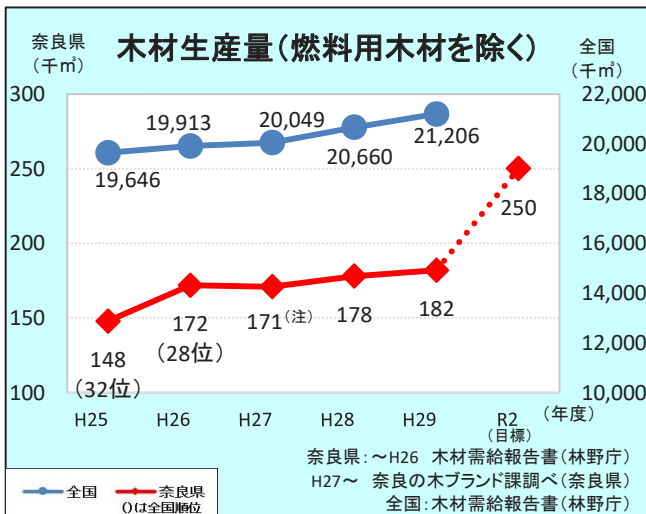
目指す姿

令和2(2020)年までに、木材生産量を25万 m^3 (A材^(注)148千 m^3 、B材44千 m^3 、C材58千 m^3)に増やすとともに、令和3(2021)年度に、新しい森林環境管理制度を導入します。

(注)A材…建築用材 B材…集成材・合板用材 C材…パルプ・チップ用材

主担当部局(長)名
農林部長 杉山 孝

1. 政策目標(目指す姿)達成に向けた進捗状況



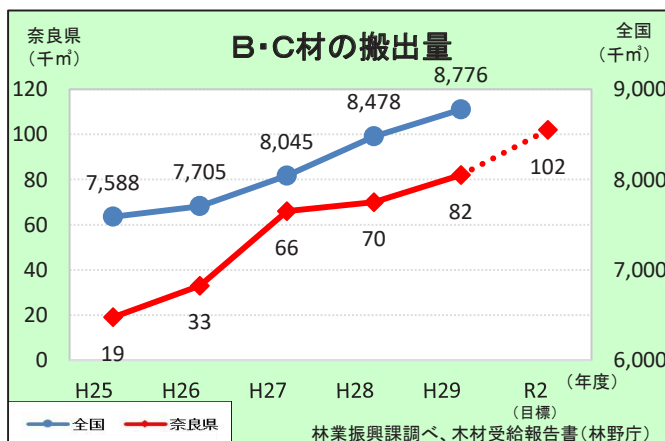
(注)H27年度からは、燃料用木材を含めた県独自調査の数値を記載しているため、全国順位は記載していません。

木材生産量(燃料用木材を除く)(千 m^3)					
指標	基準値	実績値	進捗率(傾向)	目標値	
	148	↑	33.3%	250	
	H25 (2013)	34 千 m^3	H29 (2017)	4/7 年目	R2 (2020)
進捗状況	平成27年度に奈良県林業・木材産業振興プランを策定し、従来的高级材を選んで出す林業から、A・B・C材全てを切り出す林業への転換を図る施策を推進したため、近年の木材生産量は増加傾向で推移しており、平成29年度は182千 m^3 となりました。引き続き、目標達成に向けて、全ての材を切り出す林業への転換を推し進めていきます。				

2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略 全ての材を搬出して多用途に供給するカスケード利用への転換を図ります。

主担当課(長)名
林業振興課長 大谷 義博



B・C材の搬出量(千 m^3)					
指標	基準値	実績値	進捗率(傾向)	目標値	
	19	↑	75.9%	102	
	H25 (2013)	63 千 m^3	H29 (2017)	4/7 年目	R2 (2020)
進捗状況	従来のA材のみを搬出間伐する林業から脱却し、A・B・C材全ての搬出間伐に支援することで、搬出量の増加に取り組んだ結果、平成29年度のB・C材の搬出量は、82千 m^3 となり、目標値102千 m^3 に向けて順調に推移しています。				

主な成果

- ・儲かる林業施業提案森林及び第1種木材生産林からの木材生産量が、奈良型作業道整備延長の増加により、平成30年は平成25年より10千 m^3 増加しました。
- ・輸出に取り組む企業の掘り起こしや、グループ化の支援を実施した結果、輸出に取り組む企業が増加し、8社になりました。
- ・森林管理制度について、スイスの森林環境管理制度を参考に、森林の4機能である「生産・防災・生物多様性・レクリエーション」を一元的に管理する「新たな森林環境管理制度」の方向性を定める条例(案)について検討しました。